

第6学年 総合的な時間指導案

日時 平成27年10月22日(木)3校時

指導者 教諭 阿部 真輝 (T1)

教諭 大内 恵美 (T2)

1 単元「荒浜と共に」

2 小単元「復興のために私にできること」の目標

○見出す力

- ・自分の気づきを大切にしながら、解決すべき問題を吟味して、自ら課題を設定する。

○みつめる力

- ・荒浜の現状を知り、自分にできることは何かを考え、荒浜復興への一助となりたいという強い願いを持つ。

○かかわる力

- ・荒浜小学校最後の年の最上級生として、荒浜校舎に横断幕を掲げ、多くの人に向けてメッセージを発信する。

3 指導に当たって

震災以前の荒浜地域はたくさんの自然に囲まれていた。しかし、東日本大震災によって地域そのものが壊滅し、多くの人々が亡くなり、自分たちの住む家も津波で流された。それでも、荒れた田畑を耕したり、喫茶店を荒浜地区に開設したりと、復興に向けて活動している人たちがいる。また、震災遺構として、荒浜小学校の校舎が残ることとなった。震災後、その校舎に掲げる横断幕を荒浜小学校の児童が作り、地域の人たちやかさ上げ工事をしている人たちに勇気と希望を与えてきた。荒浜小学校142年の歴史に幕が下りる今だからこそ、荒浜小学校の最後の卒業生として、未来に残る横断幕を自分たちの手で残そうと考えた。

本学級は、男子6名、女子2名の明るく活発なクラスである。5年前の東日本大震災で津波の被害を受けた時は、1年生であった。震災後8名中5名は、避難所での生活を経験している。震災当時のこともよく記憶しており、どんな状況で、どんな生活をしてきたのかをはっきりと覚えている。震災後、東宮城野小学校での生活が始まったが、現在でも「せんだいあらはま」の方々や荒浜地域のボランティアの方々等、荒浜地区の方々との関わりがある。また、学区民運動会や総合的な学習の時間での稲刈りや野菜の販売等の活動を行い、荒浜地区の方々との更なる交流も行っている。

昨年度は、荒浜の人たちと共に作物を育て収穫し、それを販売するという活動を行った。その活動を通して、自分たちで工夫し、行動できるようになってきた。また、小学生防災教育発表会や世界防災会議等で、「復興のために私たちにできること」を多くの人々の前で発表する機会があり、自分に自信が持てるようになってきた。

今年度は、これまで「会津の復興」という小単元で、主に会津の風評被害や復興を願う人々の願いについての学習をしてきた。本単元では、荒浜地区の復興に向けて頑張っている人たちの思いを知り、自分たちが復興に向けて何をすべきかを、長い目で考えていけるようにしたい。そして、今年度で統合となる荒浜小学校最後の卒業生として、

荒浜小の復興の歩みを多くの人に伝えていきたい。

荒浜小学校で過ごしてきたことが、今後の生活の自信となり、児童にとっての未来につながる取組にしていきたいと考えている。

4 研究の視点と研究との関わり（手立て）

（1）児童が取り組む意欲を持てる教材の開発

共通体験をもとに、自分たちに身近な教材を取り上げる。

（2）学びを整理し、考えを深めていくことができる単元構想の工夫

更なる課題に気付かせるため、人との関わりを意識させる。

5 小単元指導計画（全14時間 本時6時間目）

「荒浜と共に」

段階	活動名	主な学習内容	育てたい力
つかむ(全4時間) 1	自分たちができること	・いままで学習してきたことを思い出し、荒浜のために、これから何ができるのか考える。	見出す力
2, 3, 4	今の荒浜を見つめて	・荒浜地区の現状を知るために、荒浜探検に出かける。地元で働いている人（せんだいあらはま）や、可能であれば工事をしている人たちにインタビューをして、荒浜復興の願いを聞きとる。 ・自分の目で震災や復興の様子を見て疑問や感想を持つ。	みつめる力 見出す力
追究する 5(全1時間)	荒浜の復興に向けて、自分たちにできること	・今まで学習してきたことを思い出し、これまで関わってきた人々の荒浜への思いを再確認する。 ・今後の荒浜復興に向けて自分たちができることを考える。 ・新しい横断幕を作成することを確認する。	みつめる力 かかわる力 見出す力
広げる 6(全8時間)	復興への思いを伝える横断幕(本時)	・昨年度の6年生から、横断幕作成の引き継ぎを受けたことを話し、4代目横断幕を作成することを確認する。 ・どうしたら、荒浜への思いが込められた横断幕を作ることができるか考える。	かかわる力 見出す力
7~11	横断幕にメッセージを考え、復興の思いを伝えよう	・これまで自分たちを支えてくれた人たちを思い出しながら、横断幕に書くメッセージを考える。 ・未来に伝えたいことを4代目横断幕のメッセージとして表す。	かかわる力
12, 13	復興の思いを伝えよう	・全校児童に、自分たちの思いが伝わるように、横断幕のメッセージを発表する。(朝の時間等を活用) ・荒浜校舎に行き、横断幕を掲げる。	かかわる力
振り返る 14(全1時間)	学習を振り返る。	これまでの学習を整理する。	みつめる力

5 本時の学習指導

(1) 本時のねらい

- ・ どうしたら、荒浜への思いが込められた横断幕を作ることができるか考える。

(2) 指導過程

過程	主な学習活動	主な指導・支援（視点）
導入 5分	1 4代目横断幕を作ることを確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度の6年生から、横断幕作成の引き継ぎを受けたことを話し、4代目横断幕を作成することを確認する。 (T1)
展開 35分	2 横断幕の意義について話を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 4代目横断幕を作るにあたって、校長先生からみんなにお願いがあるそうです。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 荒浜小学校最後の卒業生として、「みんなの荒浜小学校への思いを、横断幕に掲げるメッセージとして発信してほしい」、「そのため、今日の話し合いを真剣にやってほしい」ということを校長先生から話してもらい、横断幕を作る意欲を高める。
	3 横断幕について振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 歴代の横断幕に、込められた思いを知ろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴代の横断幕のメッセージは、誰から誰に発信されたものかを確認する。 (T2) ・ 誰から誰に発信されたものかを簡単に板書する。(T1) ・ 確認する程度にとどめる。
	4 どうしたら、みんなの気持ちを込めた横断幕を作ることができるか考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> どんなふうにしたら、みんなの思いが込められた横断幕のメッセージをつくることができるかな。 </div> (1) ゲストティーチャーの荒浜への思いを聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの思い出があったんだ。 ・ 早坂さんも荒浜小学校出身なんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲストティーチャー（早坂さん）の荒浜小学校への思いを聞き、どんな思いを持っているのかを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> 視点2 更なる課題に気付かせるため、人との関わりを意識させる。 </div>

<p>ま と め 5 分</p>	<p>・荒浜小学校に感謝の気持ちを持っているんだね。</p> <p>(2) ゲストティーチャーと同じ思いを持っている人は誰かを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>早坂さんと同じような思いを持っている人はいるだろうか。その思いを誰に聞いてみたいかな。その理由も教えてください。</p> </div> <p>・佐藤善一さんやせんだいあらはまの人たち。授業で多く関わりを持った人だから。</p> <p>・私のお父さんお母さん。身近にいる荒浜小学校出身の人だから。</p> <p>・私のおじいさん、おばあさん。身近にいる荒浜小学校出身の人だから。</p> <p>・リルーツの人たち。荒浜地区の瓦礫拾い等、ボランティアをたくさんしていたから。</p> <p>・川村校長先生。荒浜小学校に対して熱い思いを持っている人だから。</p> <p>5 校長先生の話聞き、学習を振り返る。</p>	<p>・荒浜に思いを持つ多くの方を想起させる。</p> <p>・指名計画を立てて、机間巡視をする。(T1)</p> <p>・意図的指名をする。</p> <p>・誰に聞いてみたいかだけをホワイトボードに書かせ、黒板に貼る。理由も発表させる。</p> <p>・児童が答えた理由を、黒板に板書していく。(T2)</p> <p>・多くの方が、荒浜小学校に対して、特別な思いを持っていることに気付かせる。</p> <p>・「みんなの話聞いて頼もしく思った。」「横断幕のことは君たちに任せた。」「荒浜小学校が震災遺構で残るといことは、横断幕も残る。百年も二百年も残るようなメッセージを考えてほしい」等、校長先生に励ましの言葉をいただき、次時への意欲につなげる。</p>
----------------------------------	--	--

(3) 評価

- ・どうしたら、荒浜への思いが込められた横断幕を作ることができるかを考えることができたか。

(4) 板書計画

